

こども自然共生活動推進プログラム

「体験発表会」

- ☆ 日 時：平成24年3月11日（日） 10:00～12:20
- ☆ 場 所：山口県セミナーパーク 研修室102
- ☆ 参加者：88人
- ☆ 主 催：山口県・財団法人山口県ひとづくり財団

1 スケジュール

- 9:30 受付
- 10:00～10:05 開会
- 10:05～12:20 体験発表会（13分×8団体）
 - 1 『お山の学校』遊び場化大作戦
～これがビオトープだ～（Seed s）
 - 2 ふるさとの森づくり体験（こぶしの里牧場交遊会）
 - 3 佐波川水源の森づくり（林間塾）
（佐波川環境パートナーの会）
 - 4 鑄銭司里山パーク（鑄銭司小学校おやじの会）
 - 5 田んぼの学校・山口 自然教室
（田んぼの学校・山口）
 - 6 秘密基地をつくろう
（特定非営利活動法人産業創造支援ステーション）
 - 7 「出会いの森」生き物観察プロジェクト
（出会いの森ファンクラブ）
 - 8 旧街道赤間関街道北道筋（湯本・俵山間）自然と
ふれあう散策ルートづくり事業
（ながと大内湯けむり街道協議会）
- 12:20 昼食
- 13:30 環境学習講演会『地球ものがたり・海のすがた』
講師 水中写真家 中村征夫 氏
- 15:00 閉会

2 内容

【体験発表開催の趣旨】

次世代を担う子ども達が、自然とのふれあいと自然環境保全の実践を通して、自然のすばらしさや大切さを実感し学ぶために自然環境保全等の活動を行っている団体が実施した「子ども自然共生活動推進プログラム」の成果等を発表する。併せて、自然環境の保全に関連した環境学習講演会を開催し、全県的な自然共生活動を推進する。

各団体が実施したプログラムに参加した子ども達も感想や体験発表を行った。

1 『お山の学校』遊び場化大作 ～これがビオトープだ～ (シードズ)

発表者：内本氏、重田氏、宮川氏

柳井市日積にある「お山の学校」で行ったため池の整備事業について、参加した中高生が、団体の発足の経緯や現在までの活動、ビオトープづくりをすることで自然体験の幅が広がり学習のバリエーションが増えることなど計画した経緯とそのため水の確保が不可欠で、ため池をつくることになったことと作業や自然観察会の様子、そして今後の展望について発表を行った。



2 ふるさとの森づくり体験 (こぶしの里牧場交遊会)

発表者：清水氏、森口氏、上岡氏

防府市久兼「ふるさと牧場」の概要やこの事業を手がけた動機、ヒノキの間伐や茨等の除去、植樹作業など行った活動について団体の事務局の清水氏が発表を行った。参加者を代表して小学生の森口君と上岡君が壇上に上がり、間伐や植樹、野外炊飯など一連の活動で楽しかったことなどを発表した。



3 佐波川水源の森づくり (林間塾) (佐波川環境パートナーの会)

発表者：吉松氏

山口市徳地(山口徳地青少年自然の家くぬぎの森キャンプ場対面地)の「佐波川水源の森」で、子ども達が森での環境整備作業を通して、水源の森の大切さを学ぶことができるよう行った草刈や枝打ち作業、小枝などを利用した作品作りなどの様子を団体の代表の吉松氏が発表した。



4 鑄銭司里山パーク (鑄銭司小学校おやじの会)

発表者：原田氏、林氏、内田氏

山口市鑄銭司小学校裏山を子ども達が里山の自然を愛することができるように遊歩道を造るなどの環境整備を行い、巣箱づくりやネイチャーゲーム、散策などを実施したことを代表の原田氏が発表した。2人の小学生が、この整備作業を通して自然にふれた体験や楽しかったこと、今後も関わってきたいなどの抱負や感想を発表した。



5 田んぼの学校・山口 自然教室 (田んぼの学校・山口)

発表者：佐藤氏、三好氏

山口市仁保中郷坂本の「めだか池」周辺で進めている環境整備について、実施しようと考えた動機や「めだか池」の除草や排水路の手直しなどを行い生き物が棲みやすい環境づくりを行ったこと、自然観察会の様子などを佐藤氏が発表した。参加した小学生は、池周辺で観察した生き物の記録や参加した感想を発表した。



6 秘密基地をつくろう (特定非営利活動法人産業創造支援ステーション)

発表者：矢富氏、酒井氏、深川氏

宇部市川上の「川上ファーム」背後地の山林・原野を子ども達が自然とふれあうことができるよう、竹を伐り上部への山道を開く作業や秘密基地・小屋などを造ったことなどを矢富氏が発表した。矢富氏が、参加した小学生に参加しての感想や今後どんな活動をしたいかなどを質問すると、秘密基地づくりが楽しかったことや今後は伐採した竹を使って側の川で魚釣りをしたいことなどを述べた。



7 「出会いの森」生き物観察プロジェクト (出会いの森ファンクラブ)

発表者：井上氏、日下氏、小堀氏

下関市阿内薫木「出会いの森」で池の水路整備や樹木・野鳥などの観察会などの様子を井上氏が発表した。参加した小学生は、楽しく活動出来たことやこれからもずっと参加したいと思っていること、人との関係もつくることのできたなど自然とのふれあいの場づくりで得たものなどを述べた。



8 旧街道赤間関街道北道筋（湯本・俵山間）自然とふれあう散策ルートづくり事業 （ながと大内湯けむり街道協議会）

発表者：久保田氏

長門市湯本・俵山間の旧街道赤間関街道北道筋の保全や整備を行った目的や散策、自然観察会、案内板づくりなどを実施したことについて、活動の中で子ども達と一緒に、保全や整備をした散策ルートの活用方法や案内板をつくるなどの案を考えたことや、参加した子ども達の感想を発表した。



（質疑応答）

子どもの参加の促し方を教えてほしい。活動場所が私有地である場合、どうしているか。
→（ふるさと牧場交遊会）子ども達の参加については、現在まで10年間通年活動しており、口コミで広がってきた。また、子ども支援グループと協働やメディア等での広報の積み重ねで、参加者が増えてきた。

私有地利用については、活動拠点のふるさと牧場の所有者がふるさとを守るために土地の開放をするという考えで、活動も協働で実施。情報も一方通行でなく双方向で、と心がけている。

各団体の発表は、事業を始めた動機・目的・実施内容・子ども達の様子と結果などで、10分間の持ち時間の中でよくまとめられており、参加者にわかりやすいものでした。

2年間実施した「こども自然共生活動推進プログラム助成金交付」は今年度で終了となりました。お世話になりました。